

## JFA U-12サッカーリーグ2020県央地区リーグの熱中症対策について

7月～9月の試合については、熱中症対策として下記事項を守り試合を行う。

①WBGT=31° 以上の場合は、試合を中止または延期する。

試合を行う場合は「JFA 熱中症対策ガイドライン (A+B)」を講じた上で「クーリングブレイク」を行う。

②WBGT=28° 以上の場合は、「JFA 熱中症対策ガイドライン (A)」を講じた上で「クーリングブレイク」を行う。

③WBGT=25° 以上の場合は、「JFA 熱中症対策ガイドライン (A)」を講じた上で「クーリングブレイク」または「飲水タイム」を行う。

1、気温の30度を超える場合は、「熱中症アラーム」により計測を行わない注意しながら、試合を行なう。

2、一番暑い時間帯の午後2：00～4：00は、試合を行わないようにする。  
午前（8：00～2：00） 午後（4：00～7：00）に行う。

3、暑い日には、「飲水タイム」及び「クーリングブレイク」を適用する。

### ◆「飲水タイム」

前半・後半の試合中ばで、ベンチ前で飲水を行う。指導者は指示等してはいけない。（1分位）この時間に係る時間は試合を止めて行う。

### ◆「クーリングブレイク」 【ベンチに入ってから3分間の休息】

- ・日陰のあるベンチに入り休む。
- ・氷・アイスパック等でからだを冷やし、必要に応じて着替えをする。
- ・氷だけでなくスポーツドリンク等を飲む。

### 【留意点】

①試合の流れの中で、両チームに有利・不利が生じないように、アウトオブプレーの時に主審が判断して設定する。

②戦術的な指示もできる。

③チームがからだを冷やすために持ち込む器具は、事前に会場責任者の了解を得る。

④審判員は試合開始時に出場選手の確認を行う。会場責任者もサポートする。（ベンチの選手は、ピブス等で区別する）

⑤審判員も「クーリングブレイク」を行う。

⑥「クーリングブレイク」に費やした時間は、試合時間に追加される。

#### 4、注意事項

- ◆選手の健康管理に十分注意して試合を行う。
- ◆試合のベンチには、テント等の日陰を用意する。(チーム持参でもよい)
- ◆人工芝での試合は十分注意し、暑い時間帯は行なわない。
- ◆会場責任者は試合状況を把握し、審判員等協議して試合を行う。

#### 【JFA 熱中症対策\*1】

##### <A>

- ① ベンチを含む十分なスペースにテント等を設置し、日射を遮る。  
※全選手/スタッフが同時に入り、かつ水や飲料等を置けるスペース。  
※スタジアム等に備え付けの屋根が透明のベンチは、日射を遮れず風通しも悪いため使用不可。
- ② ベンチ内でスポーツドリンクが飲める環境を整える。  
※天然芝等の上でも、養生やバケツの設置等の対策を講じてスタジアム管理者の了解を得る。
- ③ 各会場に WBGT 計を備える。
- ④ 審判員や運営スタッフ用、緊急対応用に、氷・スポーツドリンク・経口補水液を十分に準備する。
- ⑤ 観戦者のために、飲料を購入できる環境(売店や自販機)を整える。
- ⑥ 熱中症対応が可能な救急病院を準備する。特に夜間は宿直医による対応の可否を確認する。
- ⑦ [Cooling Break\*2]または飲水タイムの準備をする。

##### <B>

- ⑧ 屋根の無い人工芝ピッチは原則として使用しない。
- ⑨ 会場に医師、看護師、BLS(一次救命処置)資格保持者のいずれかを常駐させる。
- ⑩ クーラーがあるロッカールーム、医務室が設備された施設で試合を行う。